

みんなの地域をみんなで守る。

水防（消防）団員に なりませんか。

■全国の団員数

- 40,000人以上
- 30,000人以上
40,000人未満
- 20,000人以上
30,000人未満
- 10,000人以上
20,000人未満
- 10,000人未満



水防マスコット
まるる君

水防（消防）団はあなたの入団を
待っています

現在、全国で約92万人の団員が
各地の水害で水防活動に従事しています。

水防協力団体として協力していただける公益法人・NPO法人もお
待ちしております。
（お問い合わせは地元市町村等をお願いします。）

水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私た
ちの生命や財産を守る貴重な役割を果たすのが水防
消防団です。
一人ひとりが力を合わせてこそ水防は成り立つのです。
水防（消防）団員は、非常勤の地方公務員という身分
を有しており、市町村等で手当等が支給されます。
詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせ
下さい。

いざ!

という時 のために...

日頃から気象情報や河川情報に
関心を持ちましょう。



台風時や集中豪雨時はもちろん、日頃からテレビやラジオ
などで天気予報を確認して気象の変化に関心を持ちまし
ょう。
また、国土交通省や地元の役所から出される河川の水位
情報や避難情報にも注意しましょう。
国土交通省ではインターネット・iモードでも水害の情報を
提供しております。

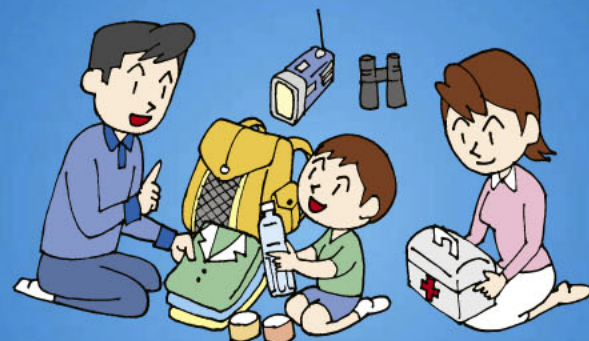
iモード版 <http://www.bosaijoho.go.jp/i-index.html>
インターネット版 <http://www.bosaijoho.go.jp/>

避難場所、避難経路を
確認しましょう。



住民の皆さんが災害時において速やかに避難できるよ
うに、浸水想定区域や避難場所などを分かりやすく示
した「洪水ハザードマップ」の整備などが全国の市町村で
進められています。
あらかじめ避難場所などを確認し、避難勧告が出され
たら直ちに避難をしましょう。
避難時にはお年寄りや女性、子供を優先的に避難させ
てください。また、家族が離れているときの集合場所や安
全の確認ができる方法も決めておきましょう。

緊急時の携行品を
ひとつにまとめて準備しておきましょう。



緊急時に備えて、貴重品、洋服や下着、非常用食品
などをまとめて用意しておきましょう。
停電に備えて、懐中電灯やラジオの準備も大切です。
荷物は避難の邪魔にならず、持ち出しやすいよう
に必要最小限にまとめましょう。



洪水から守ろうみんなの地域

水防月間

主催／国土交通省、内閣府、都道府県、水防管理団体（市町村等）
後援／警察庁、防衛庁、総務省消防庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本放送協会、（社）日本新聞協会、
（社）日本民間放送連盟、日本赤十字社
協賛／全国水防管理団体連合会、（社）日本河川協会、全国治水期成同盟会連合会、（社）建設広報協議会、（社）全国海岸協会、
（社）全国治水防協会、（社）全国防災協会、（社）全国土木コンクリートブロック協会、（社）ダム・建設技術協会、
（社）河川ハザード施設技術協会、（社）雨水貯留浸透技術協会、（財）河川防災管理協会、（財）河川情報センター、（財）国土技術研究センター、
（財）ダム技術センター、（財）ダム水源地環境整備センター、（財）リバーフロント整備センター、全国建設弘済協議会

平成18年 5/1 月 ▶ 5/31 水 ◀ 北海道は ▶ 6/1 木 ▶ 6/30 金